



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和3年度 第4号

5月12日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～風薫る季節に響くさわやかなあいさつの声～

日に日に葉の緑が濃くなり、桜の頃とはまた違った美しさのある季節となりました。そんなすがすがしい季節の朝、古殿中学校では「あいさつ坂」をはじめ、いたるところで伝統のあいさつが響き渡っています。昇降口等では毎日、生徒会役員と規律委員の皆さんが登校してくる友だちと「おはようございます」と元気にあいさつをかわしています。あいさつという行為自体は日々の生活の中で大きなことではないかもしれませんが、言葉遣いのよさや礼儀正しさ、学習や運動への集中力の高まり、ひいては知・徳・体の向上など多岐にわたる大きな効果を生み出します。このようなあいさつを、今後さらに活性化できるよう、生徒とともに取り組んで参ります。



あいさつ坂の様子



生徒会役員の皆さん



規律委員の皆さん



私は、朝、坂の下の横断歩道で交通指導をしております。そんな私にも、多くの地域の方々が車の中から会釈をしてくださいます。本当に嬉しいことです。地域全体があいさつを大切にしているからこそ、生徒も自然にあいさつができるのだと思います。

～中体連に向けて好発進！～

5月2日に行われた県中学生学年別卓球選手権県南大会において、矢吹彩乃さん（3年）と水野沙香さん（3年）がそれぞれ3位、ベスト16という素晴らしい成績で県大会出場を決めました。中体連に向けて、素晴らしいスタートを切ることができました。なお、県大会は今年22日に猪苗代カメリーナで行われます。県大会の舞台でも力を出し切って活躍することを期待しています。



～退職のお知らせ～

昨年度まで養護教諭として、今年度は心の教室相談員として古殿中学校にお勤めいただいた佐川光子先生が、家庭の事情により、5月7日をもって退職いたしました。大変、残念ではありますが、長年にわたって古殿中学校の教育活動に尽力いただいたことに感謝いたします。今後は古殿町民の一人として古殿中学校を応援したいとおっしゃってくださいました。これまで、本当にありがとうございました。



～交通事故ゼロをめざして その1～

古殿中学校では過去に起きた痛ましく悲しい交通事故を決して忘れないために、そして交通事故を決して起こさないために、毎年「古殿中学校交通安全の日」を定め、今年度は4月30日に集会を行い、交通事故の絶無を誓い合いました。

ところが、5月になって横断歩道を自転車に乗ったまま渡ったり、道路脇で遊んでいて運転手の方に危険な思いをさせたりと、心配な行動が見られました。

「ハインリッヒの法則」というものをご存知でしょうか。労働災害の分野でよく知られている、事故の発生についての経験則で、1件の重大事故の背後には重大事故に至らなかった29

件の軽微な事故が隠れており、さらにその背後には事故寸前だった300件の異常、いわゆるヒヤリハット（ヒヤリとしたりハッとしたりする危険な状態）が隠れているというものです。事故にならなかったから大丈夫だと油断することはとても危険です。大きな事故につながらないよう、学校でも機会を捉えて指導して参りますので、ご家庭におかれましてもぜひ話題にしてくださいよう、お願いします。

～交通事故ゼロをめざして その2～

古殿中学校では、朝、保護者の皆様がお子様を自家用車で送ってきた場合の降車場所として、遠野運送（株）古殿営業所様のご厚意により、その敷地内をお借りしています。約1ヵ月間、私は交通指導をしながらその様子を見ていましたが、何度か、ヒヤリハットの状況を見かけることがありました。敷地内には、会社関係の方々や車の出入りもありますので、徐行するなど、安全運転をお願いします。

また、朝は敷地脇の道路の交通量も多めですし、歩道を歩いて登校している生徒もいます。一時停止や左右確認を徹底し、くれぐれも事故がないようご理解とご協力をお願いします。

